

NY マーケットレポート (2017 年 1 月 13 日)

NY 市場では、序盤に発表された米小売売上高が堅調な結果となったことで、個人消費の堅調さが示され、2016 年 10-12 月期の成長率にも寄与するとの期待が高まったことを受けて、ドルは主要通貨に対して堅調な動きとなった。しかし、その後に発表されたミシガン大学消費者信頼感指数が市場予想を下回る結果となったことから、一転してドルが売られた。また、上昇していたダウ平均株価がマイナス圏に下落したことや、米債券利回りの低下も加わり、ドル円・クロス円は軟調な動きとなった。そして、米国市場が 3 連休となることで、トランプラリーで積み上がったドルロングの解消が進んだことも影響した。

2017 年 1 月 13 日 (金)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	114.70	115.18	114.56
EUR/JPY	121.94	122.14	121.62
GBP/JPY	139.57	140.00	139.37
AUD/JPY	85.95	86.28	85.76
EUR/USD	1.0631	1.0642	1.0604

LONDON	高値	安値
USD/JPY	114.87	114.38
EUR/JPY	122.14	121.86
GBP/JPY	140.27	139.20
AUD/JPY	86.01	85.73
EUR/USD	1.0659	1.0626

*東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	114.50	115.44	114.21
EUR/JPY	121.88	122.42	121.75
GBP/JPY	139.58	140.58	139.17
AUD/JPY	85.90	86.19	85.69
NZD/JPY	81.62	81.83	81.44
EUR/USD	1.0645	1.0672	1.0596
AUD/USD	0.7502	0.7505	0.7450

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	19885.73	-5.27
S&P500	2274.64	+4.20
NASDAQ	5574.12	+26.63
日経225 (CME)	19300	+130
トロント総合	15497.28	+79.12
ボルサ指数	46182.43	+121.45
ボベスパ指数	63651.52	-302.41

1/16 経済指標スケジュール

08:50 【日本】12月国内企業物価指数
 08:50 【日本】11月機械受注
 09:01 【英国】1月ライトムーブ住宅価格
 13:30 【日本】11月第三次産業活動指数
 15:00 【日本】12月工作機械受注
 16:00 【トルコ】10月失業率
 16:00 【ノルウェー】12月貿易収支
 19:00 【欧州】11月貿易収支
 23:00 【カナダ】12月中古住宅販売件数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1196.20	-3.60
NY 原油	52.37	-0.64
CME コーン	358.50	+0.25
CBOT 大豆	1046.25	+6.00

米国債利回り	本日	前日
2年債	1.193%	1.173%
3年債	1.477%	1.450%
5年債	1.897%	1.863%
7年債	2.204%	2.165%
10年債	2.396%	2.359%
30年債	2.989%	2.961%

ドイツ10年債	0.338%	0.316%
英国 10年債	1.364%	1.299%

1/16 主要会議・講演・その他予定

- ・黒田日銀総裁 挨拶
- ・欧州議会本会議 (～19日)
- ・IMF世界経済見通し
- ・米国市場休場

NY 市場レポート

22 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

11 月ポーランド経常収支 -4.27 億 PLN (予想 -3.19 億 PLN・前回 -5.31 億 PLN)

前回発表の -3.93 億 PLN から -5.31 億 PLN に修正

11 月ポーランド貿易収支 1.02 億 PLN (予想 1.00 億 PLN・前回 -1.28 億 PLN)

前回発表の 0.30 億 PLN から -1.28 億 PLN に修正



出所 : Bloomberg



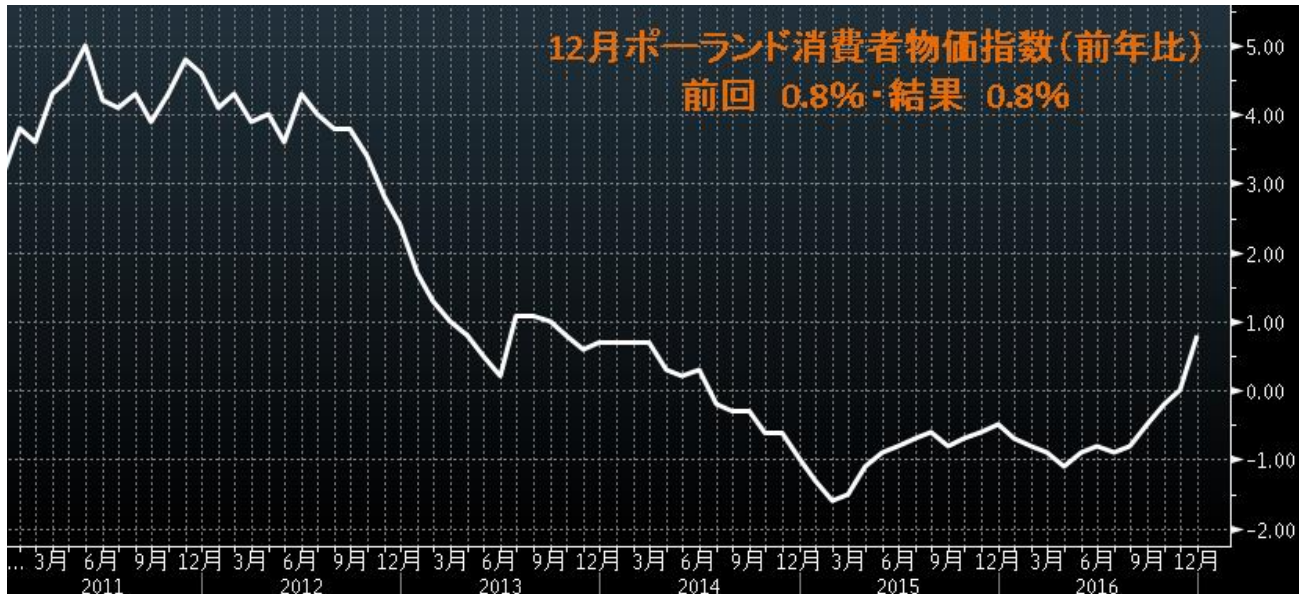
出所 : Bloomberg

22 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

12 月ポーランド消費者物価指数（前月比） 0.7%（前回 0.7%）

12 月ポーランド消費者物価指数（前年比） 0.8%（前回 0.8%）



出所 : Bloomberg

22 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

12 月米小売売上高（前月比） 0.6%（予想 0.7%・前回 0.2%）
前回発表の 0.1%から 0.2%に修正

12 月米小売売上高[除自動車] 0.2%（予想 0.5%・前回 0.3%）
前回発表の 0.2%から 0.3%に修正



出所 : Bloomberg

指標結果データ

《米小売売上高》

	12月	11月	10月	9月	8月	7月	前年同月
小売売上高	0.6	0.2	0.7	1.0	0.0	0.1	4.4
除く自動車	0.2	0.3	0.6	0.8	0.0	-0.4	3.8
自動車・部品	2.4	-0.2	0.8	1.9	0.0	2.0	6.8
食品・飲料	-0.3	0.0	0.6	0.6	0.5	-0.4	2.5
総合小売店	-0.5	0.1	0.4	-0.4	-0.6	-0.6	-2.8
大規模小売店	-0.6	-0.2	-1.0	-0.5	-0.9	-1.3	-8.4
無店舗小売店	1.3	0.3	1.7	0.6	0.5	0.7	13.2

12月の米小売売上高は、前月比+0.6%の4690億9200万ドルとなり、市場予想を下回ったものの、堅調な伸びが続いた。自動車・同部品が2ヵ月ぶりにプラスに転じたことや、ガソリンスタンドも大きなプラスとなったことが押し上げ要因となった。前年同月比では+4.1%だった。変動が大きい自動車・同部品を除く売上高は+0.2%、前年同月比では+3.4%だった。品目・業種別では、自動車・同部品が+2.4%、ガソリンスタンドが+2.0%、建材・園芸が+0.5%、家具・装飾が+0.5%、電子・家電は-0.5%、食品・飲料は-0.3%。また、総合小売りは-0.5%だが、非店舗小売りが+1.3%と店舗型のマイナスをカバーした。

22:30

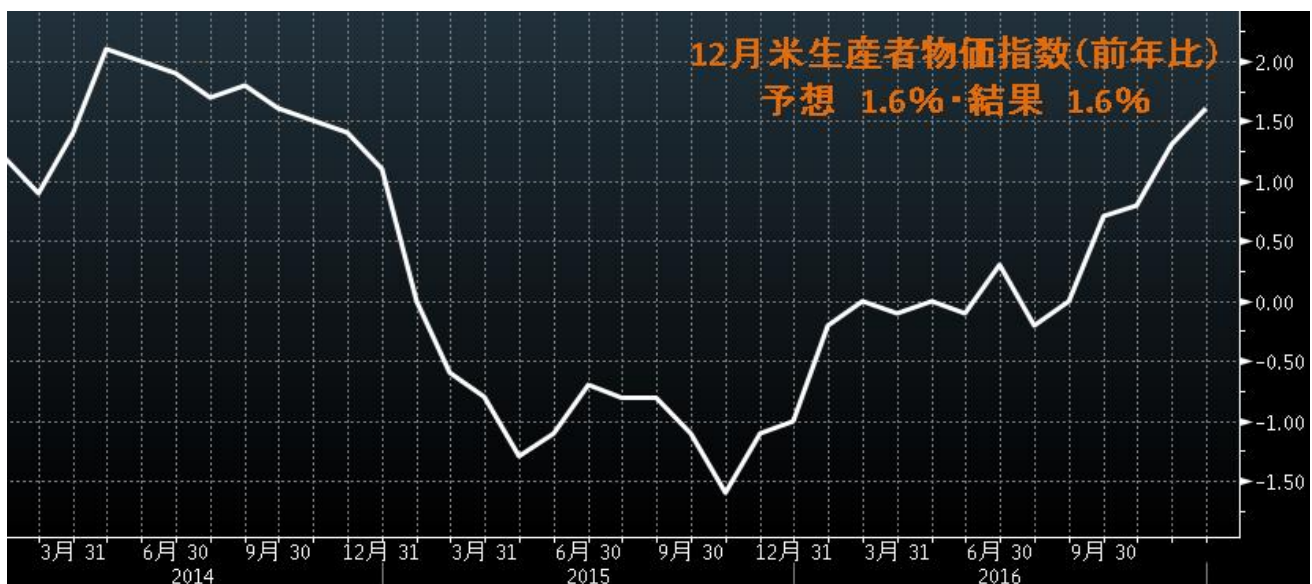
《経済指標の結果》

12月米生産者物価指数（前月比） 0.3%（予想 0.3%・前回 0.4%）

12月米生産者物価指数[コア] 0.2%（予想 0.1%・前回 0.4%）

12月米生産者物価指数（前年比） 1.6%（予想 1.6%・前回 1.3%）

12月米生産者物価指数[コア] 1.6%（予想 1.5%・前回 1.6%）



出所：Bloomberg

指標結果データ

《生産者物価指数》

	12月	11月	10月	9月	8月	7月
最終需要	-0.3	0.4	0.0	0.3	0.0	-0.4
消費財	-0.7	0.2	0.4	0.7	-0.4	-0.4
食料品	-0.7	0.6	-0.8	0.5	-1.6	-1.1
エネルギー全体	2.6	-0.3	2.5	2.5	-0.8	-1.0
除く食品・エネルギー	0.3	0.2	0.1	0.3	0.1	0.0
サービス	0.1	0.5	-0.3	0.1	0.1	-0.3

12月の米生産者物価指数は、モノとサービスを合わせた総合指数が前月比+0.3%と市場予想と一致した。前年同月比では+1.6%となり、

2014 年 9 月以来の高水準となった。食品、サービス、エネルギーを含め幅広い分野で上昇した。変動の激しい食品とエネルギーを除いたベースでは前月比+0.2%、前年同月比では+1.6%。また、食品とエネルギー、貿易サービスを除いたベースは前月比+0.1%、前年同月比では+1.7%となった。モノは前月比で+0.7%、前年同月比でも+1.9%となり 2014 年 7 月以来の大きな伸びだった。ガソリンなどのエネルギー価格は、前月比+2.6%。食品は鶏卵の価格が大きく上昇し+0.7%。サービスは+0.1%、うち貿易は+0.2%、輸送・倉庫は-0.4%だった。



出所 : Net Dania

0 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

1 月 ミシガン大学消費者信頼感指数 98.1 (予想 98.5・前回 98.2)



出所 : Bloomberg

経済指標データ

《ミシガン大学消費者信頼感指数》

	1月速報	・	12月	・	11月	・	10月	・	9月	・	8月
消費者信頼感	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
景気現況指数	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
消費者期待指数	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
1年インフレ	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
5年インフレ	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・

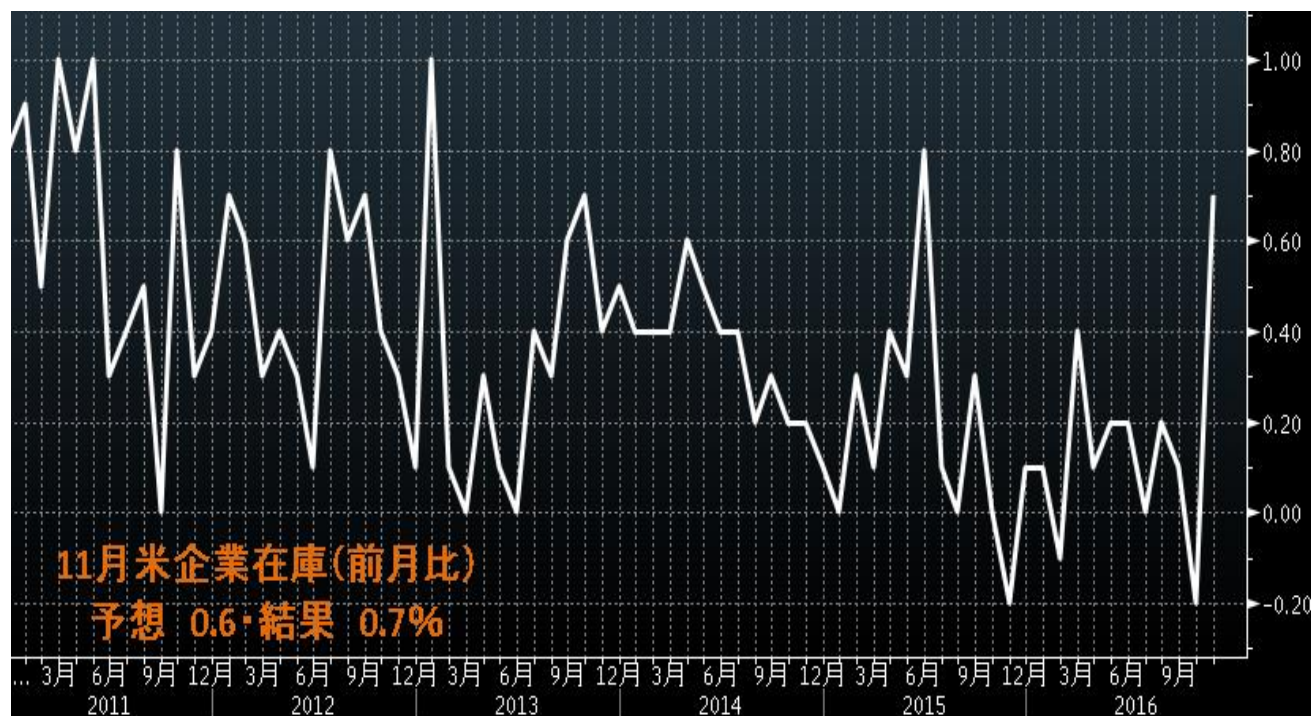
1月の米ミシガン消費者信頼感指数の速報値は、市場予想の98.5を下回る98.1となり、昨年12月の確報値から0.1ポイント低下した。現状指数は112.5と前月確報値から0.6ポイント上昇、先行き指数は88.9と前月確報値から0.6ポイント低下した。また、1年後のインフレ期待は2.6%で昨年12月確報値から0.4ポイント上昇した。

0:00

《 経済指標の結果 》

11月米企業在庫（前月比） 0.7%（予想 0.6%・前回 -0.1%）

前回発表の-0.2から-0.1に修正



出所：Bloomberg

指標結果データ

《米企業在庫》

	11月	・	10月	・	9月	・	8月	・	7月	・	前年同月比
企業在庫	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
製造業	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
小売業	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
卸売業	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・

	11月	・	10月	・	9月	・	8月	・	7月	・	前年同月比
企業売上	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
製造業	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
小売業	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
卸売業	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・

11月の米企業在庫は、前月比+0.7%の1兆8274億9700万ドルとなり、2ヵ月ぶりにプラスとなった。前年同月比では+1.5%。製造業、小売業、卸売業がともにプラスだった。小売業が前月比+1.0%、卸売業が+1.0%、製造業が+0.2%だった。自動車・同部品を除く小売業は+0.5%。小売業の内訳は、自動車・同部品が+0.9%、建材・園芸が+1.2%、総合小売りが+0.3%、食品・飲料が+0.5%、服飾は+0.8%だった。企業売上高は、前月比+0.1%の1兆3266億9300万ドル。前年同月比では+2.3%。業種別の前月比では、小売業が横ばい、卸売業は+0.4%、製造業は-0.1%。在庫高は、売上高の1.38ヵ月分に相当し、前月から0.1ヵ月分増えた。

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、欧州企業の業績改善への期待感が広がったことから、主要株価は堅調な動きとなった。特に、英FT100指数は、終値ベースの過去最高値を12営業日連続で更新した。



＜ NY 金市場 ＞

NY 金は、中心限月が前日比 3.60 ドル安の 1 オンス=1196.20 ドルで取引を終了した。

NY 金は、利益確定の売りや、ドルが主要通貨に対して上昇したことを受けて、売りが先行した。ただ、その後ドルが下落に転じる動きとなり、買い戻しが優勢となった。

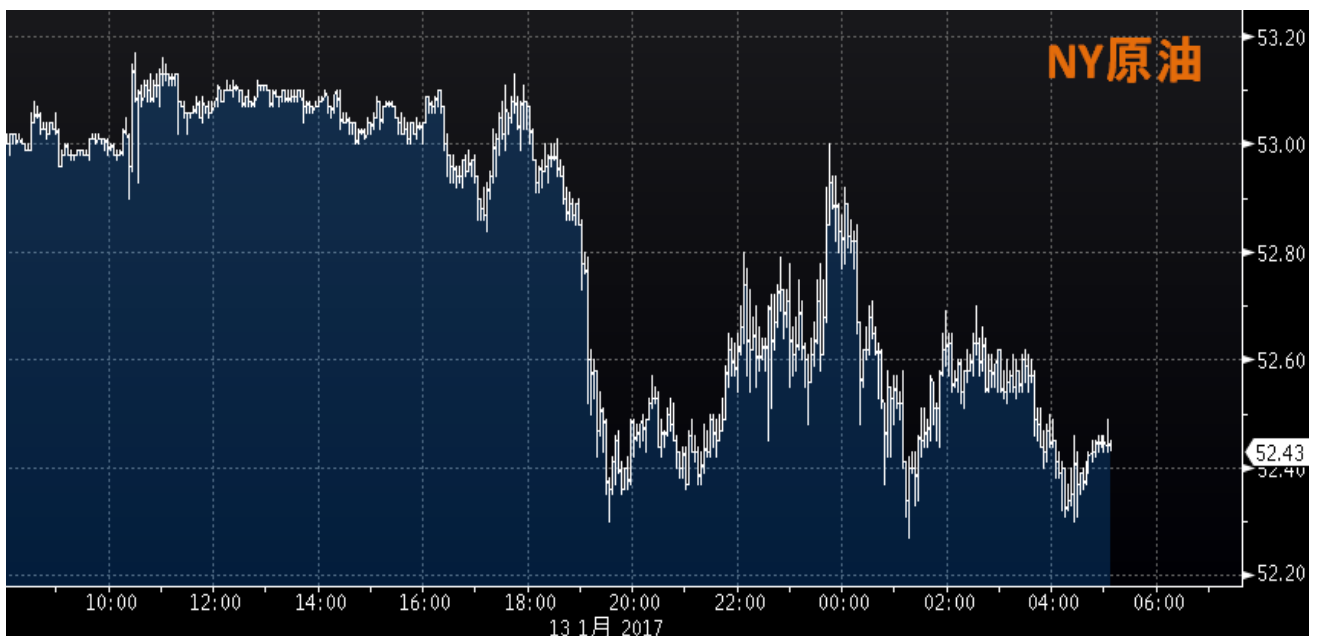


出所：Bloomberg

＜ NY 原油市場 ＞

NY 原油は、中心限月が前日比 0.64 ドル安の 1 バレル=52.37 ドルで取引を終了した。

NY 原油は、主要産油国が減産合意を順守することに対する懐疑的な見方が根強く、売りが優勢となった。ただ、米石油サービス大手が発表した米国内の石油掘削装置の稼働数が 11 週ぶりに減ったことを手掛かりに買い戻しも入った。



出所：Bloomberg

《米株式市場》

米株式市場は、米大手金融機関が発表した2016年10-12月期決算が市場予想を上回ったことや、個人消費関連の経済指標が堅調な結果となったことが好感され、主要株価は堅調な動きとなった。しかし、その後に発表された消費者関連の指標が予想を下回ったことなどが影響し、ダウ平均株価はマイナス圏まで下落し、小幅安となった。一方、ナスダック、S&P500はプラス圏で引けた。



出所：Bloomberg

《外国為替市場》

外国為替市場は、序盤に発表された米小売売上高が堅調な結果となったことを受けて、ドルが主要通貨に対して上昇となった。また、株価が堅調な動きとなったことなどもあり、クロス円も堅調な動きとなった。しかし、その後は堅調な動きだったダウ平均株価がマイナス圏に下落したことや、米債券利回りが低下したことを受けて、ドル円・クロス円は軟調な動きが続いた。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。